

ひけつ4 じょうほう 情報を上手に発信しよう

(22) 短い文章で気持ちを表すには…

●テーマの背景

ネット上の短い言葉のやりとりから誤解を生み、けんかになってしまうことがあります。「？」をつけるか、つかないかによって、真逆の意味になってしまいます。文字コミュニケーションは、インターネットや相手の顔の表情が見えないので、真意が伝わりにくいことがあります。

真意を伝えたいときは、ネット上のコミュニケーションに頼らずに、直接会って話すことを習慣づけることをお勧めします。

●行動目標、学習目標

行動目標	・文字コミュニケーションだけに頼るのではなく、対面、電話などのメディアを上手に使い分けることができる。
学習目標	・SNS での短い文章でのコミュニケーションは意図がきちんと相手に伝わらないことがあることを理解する。

●指導案

所要時間	学習活動	ファシリテーションの観点からの指導上の注意点	ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点
導入 ① 5分	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに自己紹介する。(名前、学年、好きなアニメなど) 子どもが答えたアニメやキャラクターをネット検索する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の関心を引き出す。 学習会の目的を共有して、意識をそろえる。 グループに分かれる。 自己紹介用のワークシートを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味のあることをネット検索し、インターネットへの関心を引きつける。
導入 ② 5分	<ul style="list-style-type: none"> インターネットやソーシャルメディアをどのように使っているか、参加者同士で意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。
展開 ① 10分	【コンテンツを使った学習】 <ul style="list-style-type: none"> SNSを使ったことがあるかを確認する。 「短い文章で気持ちを表すには…」のアニメコンテンツを見る。(アニメコンテンツを表示する。) 	<ul style="list-style-type: none"> SNS、無料通話アプリを使ったことがあるかを確認し、当事者意識を持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSについての子どもの理解度を確認し、身近に感じていることを引き出す。
展開 ② 20分	【ワーク】 <ul style="list-style-type: none"> 設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。 講師からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 正解ではなく、自分の身のまわりのことを考えて、行動を考えさせる。ワークシートに記入する。 	
休憩			
展開 ③ 40分	【グループディスカッション、グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の気づきを全体で共有することで、新しい発見を生み出す。 話合いの学びを深めるために基本となるルールを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ネット上のミスコミュニケーションがあったとき、どのように解決したらいいかを考えさせる。
展開 ④ 10分	【解説】 <ul style="list-style-type: none"> 短い文章で気持ちを伝えるときの注意点を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを見ながら、学んだことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを確認する。
10分	【まとめ・振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> 学んだことをワークシートに記入する。 気づきを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを確認する。 振り返りをするすることで、感じたことや気づきを定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを日常生活の中で生かすように促す。

●講師シナリオ案

テーマ	講師シナリオ案	発問のポイント
導入①	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。 ・次は皆さんに自己紹介してもらいます。 ・自己紹介用のワークシートに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、好きなもの（色、食べ物など）を記入してください。 ・名札に学習会で読んでもらいたい名前を書いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。 ・お互いの関係性を作る。
導入②	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、インターネットを使っていますか。どのように使っていますか（メール、音楽のダウンロードなど）。 ・何を使ってインターネットにつながっていますか（携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機など）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な投げかけではなく、双方向コミュニケーションを行い、参加者それぞれの経験をもとに話を広げる。
展開①	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、無料通話アプリを使っていますか。 ・無料通話アプリを使っていて、友だちとのミスコミュニケーションが原因で行き違いを経験したことはありますか。 ・これからアニメコンテンツを見ていただきますが、皆さんがインターネットを使っているとき体験しそうなエピソードを扱っています。 ・まずは、登場人物の紹介です。 ・主人公のミサキさんは中学1年生。中学入学と同時にスマートフォンを買ってもらい、無料通話アプリに夢中になっています。 ・このエピソードは、友だちと約束をするときのコミュニケーショントラブルの事例を示しています。 ・それでは早速アニメコンテンツを見てみましょう。（アニメコンテンツを見せる。） ・アニメコンテンツの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料通話アプリを使った友だちとのミスコミュニケーションが原因で行き違いを経験したことがあるかを確認する。 ・まずはイントロムービーを見せる。
展開②	<p>【個人ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかがでしたか。コンテンツを見てどう思いましたか。感想を聞かせてください（子どもの感想を聞く）。 ・（子ども：ネットのやりとりで誤解してしまうことはあるかも。）そうですね。ミサキさんとユイさんの間で、誤解し合ってしまったんですね。 ・それでは、ネット上でミスコミュニケーションがあったとき、どのように解決できるかを考えてみましょう。 ・皆さんはどれを選びましたか。①を選んだ人？ ②を選んだ人？ ③を選んだ人？（手をあげてもらおう） ・それぞれの選択肢を選んだ理由もきかせてください。 ・選択肢にない行動をとるといふ人はいますか。そして、その理由も聞かせてください。 ・ミサキさん、ユイさんはどうすればよかったのでしょうか。ワークシートに、自分がミサキさん、ユイさんだったらどんな行動をとるかを書いてください。その理由も書いてください（ワークシートを配る。約10分）。 ・（約8分経過したところで子どもに尋ねる）ワークシートに記入できましたか。（子ども：まだー） ・では、もう少し時間をとりますね。（大多数の子どもが記入できていればOK）。 ・ワークシートに記入できましたか。ここで、休憩を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの回答をまず、受け止める。 ・どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。 ・子どもがワークシートに記入しているかどうかを確認し、記入できない子どもに対して、わからないことがあるかを尋ねる。 ・途中の段階で、ワークシートに記入できたかどうかを尋ねる。
展開③	<p>【グループディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、グループごとにワークシートに記入したことをもとに話し合ってみましょう。 ・グループごとに司会進行役、記録係、発表者を決めてください。 ・まずはワークシートに書いたことをグループの中で話してください（どの選択肢を選んだか、その理由、選択肢以外の行動、その理由）（約15分）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力が豊かですぐに意見を言える子どももいれば、そうでない子どももいるので、考える時間を設ける。 ・基本的には一人ずつ意見を聞く。発言してい

	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな意見が出てきましたね。それでは、グループごとにルールの3箇条を決めてください。 ・グループごとに発表しましょう（発表するグループの順番を決める。発表時間約10分）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ない子どもには、意識的に質問を投げかける。 ・グループごとに合意形成の練習をする。 ・全体で意見を共有する。 ・発表に対して、ほめ言葉でコメントする。
展開④	<p>【解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①のように、ちゃんとメッセージが伝わっていないかもしれないと思ったときは、改めてメッセージを送って確認することが大切です。 ・②のように、電話をかけて確認したり、③のように、直接会って確認したりするのもいいですね。 ・このエピソードでは、ミサキは「何で来るの」とメッセージを送りましたが、ユイは「どうして来るの？ 来なくてもいいよ」と言っていると勘違いしてしまいました。 ・他に、友だちの洋服についてのコメントを「かわいくない」と「？」をつけずにメッセージを送ってしまうと、「かわいくない。」と断定されたと誤解されてしまうことがあります。 ・文字コミュニケーションだけでは、誤解してしまうことがあるので、文字コミュニケーションだけに頼らないようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説ページを開く。
まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・山本家・小林家スマホのひけつを確認しましょう。 ・最後は皆さんに、今日学んだこと、感じたことを振りかえってもらいます。 ・「振り返りシート」に記入してください。 ・「振り返りシート」に記入できましたか。感想を聞かせてくれますか。 ・ネット上のコミュニケーションで行き違いがあったとき、ネットのコミュニケーションで解決することはできません。必ず、直接会ってみんなで話し合うようにしましょう。 ・皆さん、とてもいい気づきがありましたね。これからもネットを使っているとき、困ったことがあるかもしれませんが、今日学んだことを思い出して、どのように行動したらいいかよく考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山本家・小林家スマホのひけつを開く。 ・振り返りシートを配る。

ポイント!

このエピソードでは、ミサキは「何で来るの」とメッセージを送りましたが、ユイは「どうして来るの？ 来なくてもいいよ」と言っていると勘違いしてしまいました。

他に、友だちの洋服についてのコメントを「かわいくない」と「？」をつけずにメッセージを送ってしまうと、「かわいくない。」と断定されたと誤解されてしまうことがあります。

子どもたちの人間関係が、ちょっとした言葉の行き違いで、もろくも壊れてしまう危うさを示しています。